

秋田港洋上風力発電作業船ZARATAN号における
新型コロナウイルス感染症患者の発生について
市長臨時記者会見

私から、秋田港洋上風力発電の作業船「ZARATAN(ザラタン)号」における新型コロナウイルス感染症患者の発生について、報告申し上げます。

昨日8月23日、秋田市保健所に医療機関からザラタン号の乗組員78名のうち14名のコロナ陽性者が発生したとの届け出がありました。この陽性者は、船内で実施した48名のPCR検査により判明したものであります。

秋田市保健所では、県との協議を踏まえ、陽性者14名の病状やこれまでの行動歴等の調査を行っているところでありますが、このうち1名については、発熱等の症状があることから、本日午前、秋田市消防において市内の医療機関に緊急搬送を行ったところであります。残りの陽性者13名については、現在、療養施設への入所等を調整中であります。

なお、乗組員のうち残り30名については、現在、PCR検査を実施しているところであり、明日の発表になる見込みであります。検査結果に応じて県とも調整のうえ、医療機関への入院または療養施設への入所等の手続きを進めてまいります。

また、陰性となった乗組員については、当面、船内にて待機していただくこととしておりますが、今後、工事主体である鹿島建設株式会社において、秋田港の岸壁に仮設の療養所を設置したいとの意向があると伺っており、すでに国土交通省秋田港湾事務所から、設置について内諾を得ているとの報告を受けております。

今回の感染例は、洋上風力発電の作業船内という、ある程度クローズな空間の感染であり、今後の動向を注視していく必要がありますが、市民の皆様には冷静な行動をお願いしたいと考えております。